

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害な**カレニア・ミキモイが最高で1,800cells/ml、シャットネラ属が16,000cells/ml、**確認されました。

**カレニア・ミキモイ、シャットネラ属ともに湾内の広範囲で漁業被害が想定される密度を大きく超えています。**

今後も増殖・拡大が想定されますので、**餌止めなど慎重な養殖管理**をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/ml)

調査地点	水深	カレニア・ミキモイ	シャットネラ属
鳴無	1.1m	1,800	16,000
中学校前	1.4m	750	8,000
目ノクソ	1.5m	400	7,800
光松	1.8m	500	2,900
大鹿	1.3m	500	7,600
宇佐市場前	2m	0	22
宇佐養魚場	2m	0	4

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 50,000cells/ml～(魚類のへい死)

